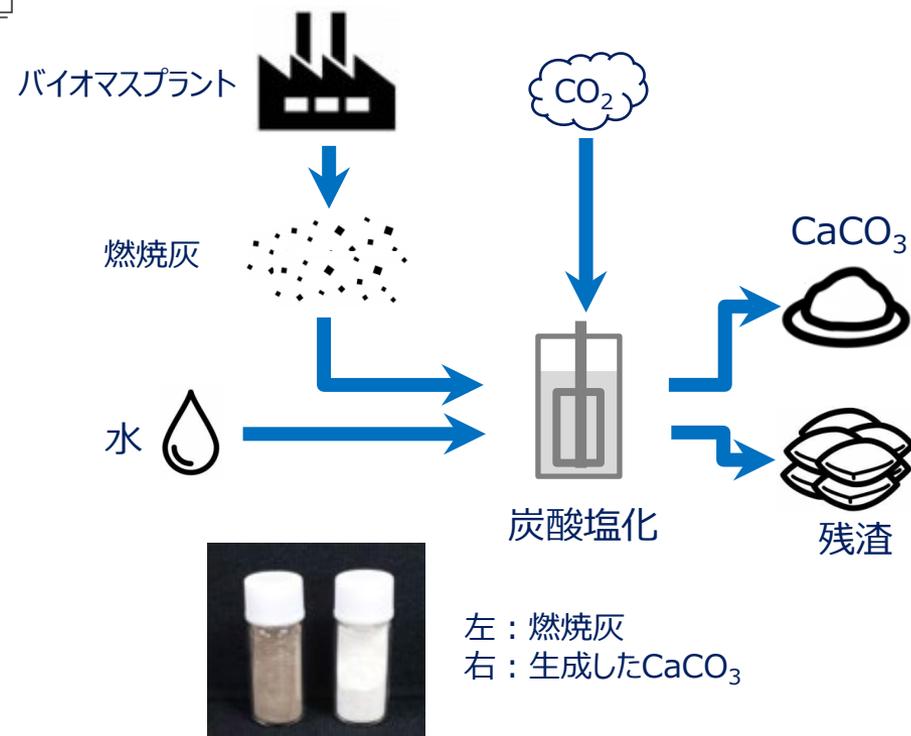


技術研究所 □

- ボイラー燃焼灰に含まれるCaを利用して排ガスなどに含まれるCO₂をCaCO₃（炭酸カルシウム）の形で固定します。
- バイオマスを燃料としたボイラー燃焼灰はCaを多く含んでいるため、他の灰を使用するよりも高いCO₂固定ポテンシャルが期待できます。
- CaとCO₂から炭酸カルシウムを作る場合、**反応にエネルギーを必要としないため、攪拌などの動力のみで安価にCO₂固定が可能**となります。
- 得られた炭酸カルシウムは純度が高く粒径も細かいため、付加価値の高い製品への適用を目指しています。



カーボンニュートラル貢献ポイント

- ✓ 機械動力以外のエネルギーを必要としないため、**安価なCO₂固定が可能**
- ✓ **CO₂がバイオマス由来の場合、カーボンニュートラル・ネガティブ**が狙える